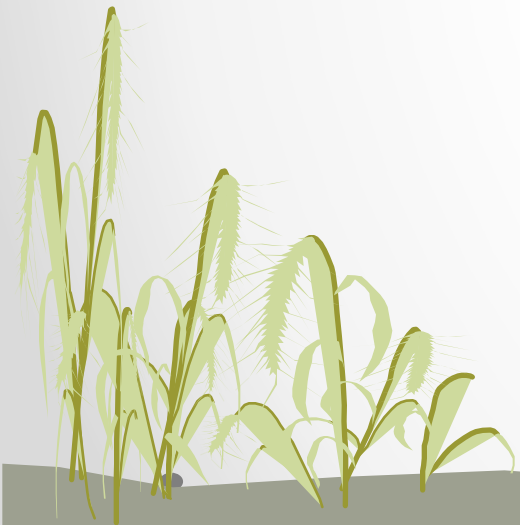


報告事項

- 1、協賛（スポンサー）契約の件
- 2、暑さ対策（ガイドライン）について



1、協賛契約の件

(株)調布清掃と協賛（スポンサー）契約成立

7月29日付調印式（年間契約とする）

代表チームの選手強化&ジュニア育成を重点に支援

ロゴワッペンをユニホーム、ヘルメットにシール

連盟ホームページにバナー広告（会社ロゴ名）

協賛頂ける個人・団体・法人の募集を進めていきます

自然災害のリスク

熱中症



大地震の予告



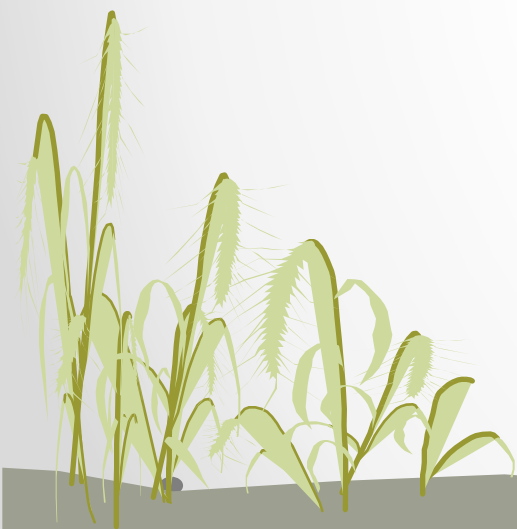
台風



線状降水帯

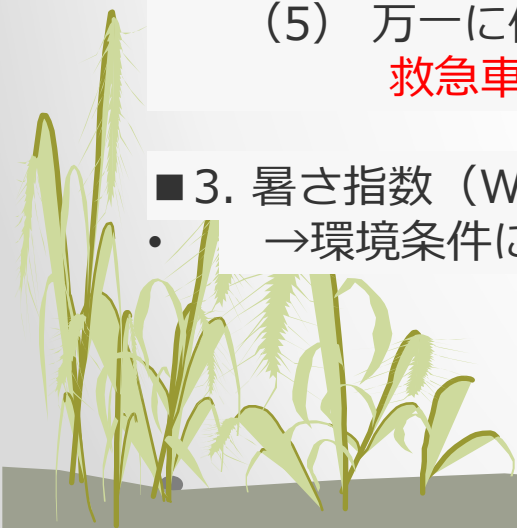


2、暑さ対策（ガイドライン）について



熱中症予防指針（JSPO）

- 1. 暑さ指数（WBGT）31℃以上の場合、スポーツ活動を原則中止（子どもや高齢者の場合には中止すべき）
- 2. スポーツ活動を実施する場合は下記の対策を講じないとならない。
 - (1) 競技ルールや慣例にとらわれず、休憩時間（水分補給や身体冷却のための時間）を設定する。
 - (2) 環境条件に応じ活動時間を調整する（時間帯の変更、活動時間の短縮など）。
 - (3) 参加者が積極的に身体冷却を行えるよう環境を整備する（複数の冷却方法を準備できると良い）。
 - (4) 参加者の体調チェックを毎日実施し、体調が悪い場合は活動を中止させる。
 - (5) 万一に備えた救急体制を構築し、医師又は看護師の常駐はもとより、熱中症には速やかに対応する。
救急車の要請⇒涼しい場所への避難⇒身体冷却
- 3. 暑さ指数（WBGT）に基づき活動実施の可否判断を行うフローを取り決め、参加者へ事前に周知する。
 - 環境条件に応じてスポーツ活動を中止する可能性があることを事前に周知する。



熱中症対策の実態

	対策内容	実施比
①	水分補給	80%
②	体調チェック	75%
③	給水タイム設定	68%
④	運動量・強度の設定	57%
⑤	活動時間の変更	40%
⑥	身体冷却	41%

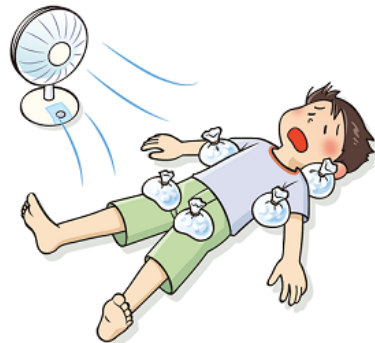
- 活動時間の見直し・変更
年間予定・試合開始時間・休憩タイム

- 体調チェック
(発熱、二日酔いは危険)



- 身体冷却の実施低い

何で冷やす (氷、保冷剤、冷タオル)
冷やし方 首筋、付け根、わきの下
手のひらを冷水に付ける)



CHECK!

熱中症になってしまったら

